食育に対する農林水産省の考え方

農林水産省は、「食」の生産、流通の一連の工程を担う農林漁業、食品産業を振興する立場から、関係府省と連携し、また、農林漁業者、食品産業関係者の参画を得て、生産・流通・消費の各段階における「食育」を推進する。

業を者

現状

- 〇食料消費構造の変化
 - ・「食の外部化」、「食の簡便化」等食の多様化
 - ・伝統的な食文化の喪失
- <u>〇生産者と消費者との距離の拡大</u>
 - •「食」を大切にする意識の希薄化
 - -「食」の生産を支える産業への理解と信頼の低下
- ○海外に依存する「食」
 - 先進国中最低の食料自給率
 - ・不安定な世界の食料事情
- 〇食生活の乱れ
 - ・朝食の欠食等食習慣の乱れ
 - ・栄養の偏り、生活習慣病の増加
- <u>♥○「食」の安全上の問題の発生</u>
 - 「食」の安全への関心の高まり

食育の展開方向

- ○食生活の改善を通じ、
 - 「日本型食生活」の実践
 - ・農林水産業、食品産業への理解の醸成
 - ・地域の優れた食文化の継承



』『「食」を支える農林漁業、食品産業の振興』

∥『「食」の主な生産の場である農山漁村の活性化』

『食料自給率の向上』



○「食」の安全性に関する情報提供

教育ファーム推進の課題と取組方向

課題

- 教育ファームの認知と理解の促進 質の高い取組みについての情報提 供と教育ファームに取組むメリットの明 確化。
- 〇 教育ファームを推進する連携の整備 市町村、学校教育関係者など関係者 間の連携が必要。
- 〇 体験内容の充実 地域に応じた体験プログラムや現場 での活動にあたっての留意点の
- 関係者間の経費負担のあり方 生産資材費やほ場管理などの<u>農林</u> 漁業者の経済的・時間的負担の問題 解決が必要。

(教育ファーム推進研究会最終報告書より)

取組方向

- 全国の<u>優良な取組のポイントを整</u> 理した事例集の作成と取組効果の測 定を実施し、広く公表。
- 多方面の関係者が加わった教育 ファームを支援する組織を全国段階、 都道府県段階、地域段階で立ち上げ。
- 〇 関係者に対する研修のプログラム やマニュアルの作成
- 〇 関係者の経費負担のあり方や拠 出方法を検討し、<u>行政支援に依存し</u> ない継続できる取組を促す。

農林漁業体験を通じた食育の推進

「食」や「農」に関する関心や理解を増進するとともに、自然の恩恵や「食」に関わる人々の様々な活動への感謝の念や理解を深めるため、教育ファーム等の農林漁業体験の機会の提供を積極的に推進

食育

農林漁業体験活動

- 五感を使った教育ファームでの体験 ー生き物、人、自然とのふれあいー
- ・食の生産・流通・消費に関する学習

ホンモノ体験!

実体験を通じた食や農に関する知識の習得

健全な食生活

・「食事バランスガイド」を 活用した「日本型食生活」 等の普及・啓発

地産地消

- ・地場産物を学校給食で活用
- ・生産者と消費者の「顔の見える」関係の構築

教育ファームとは・・・

自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動への理解を深めること等を目的として、農林漁業者などが一連の農作業等の体験の機会を提供する取組。

一連の農作業等の体験とは、体験者が、実際に農林水産業を営んでいる方の指導を受け、同一作物について2つ以上の作業を年間2日以上の期間行うこと。

≪教育ファームの効果≫

- ・食べ物・命の大切さへの理解(食べ残しの減少)
- ・農業への理解(自然環境(天候など)、様々な人との関わり)
- ・郷土への親しみ(地場産物、地域の祭・行事への理解)

取組事例(福岡市の取組)

- ◎愛宕小学校の校区には、田んぼが一枚もありません。今回は、地下鉄に乗って 周船寺まで移動して体験しました。全ての児童にとって始めての農業体験です。
- ・児童は、農家の指導を受け農業との距離が縮まった。
- 図鑑でしか知らない田んぼの生き物に感動した。
- ・1年間の連続した取組で食の大切さを学べた。

【平成20年度】

取組作物:米

参加者数:5年生(133 名)

テーマ:未来発見プロジェクト「私を支える食べ物」



全国段階の教育ファーム推進協議会のイメージ

相談窓口の設置

教育ファームって何? 教育ファームに参加したい! 教育ファームを始めたい! などのお問い合わせに対応

ポータルサイトの 設置・運営

教育ファームを実施している 主体の具体的な取組内容を 一覧にし、紹介

シンポジウムの開催

多くの方に教育ファームをPRし、 理解を深めてもらうために開催

取組主体間のネットワーク化

協議会事務局

協議会メンバー

○○団体 ○○協会 ○○振興会など

研修会の実施

教育ファーム取組主体、地域の 教育ファームを推進する行政担当者 向け研修会を実施

マニュアル·教材 •事例集の作成

教育ファームの取組主体、教育関係者、 地域の推進役(コーディネーター)向け マニュアルやポイントを絞った 事例集などを作成

モデル事業の実施

- ・教育ファームを取り組んだ際に、 誰にどのような効果があるかを 全国各地で検証
- ・地域(都市、近郊、農村等)、 取組主体、対象者、対象作物別など様々なパターンで実施

将来的には教育ファームの認証制度について検討

(教育ファーム推進研究会最終報告書より)

都道府県段階の協議会のイメージ

県内の協議会の ネットワーク化

・市町村段階の協議会のネットワーク化 ▽県内の教育ファームの推進状況を把握

研修会の実施

教育ファーム取組主体、 市町村の教育ファームを推進する 行政担当者向け研修会を実施

協議会事務局

協議会メンバー

関係行政機関 関係団体 学識経験者など 市町村段階の取組をとりま とめて、情報を共有化したり、 市町村の取組を後押しする 組織を想定

取組主体間の ネットワーク化

- ・取組主体間の交流を推進
- ・県内の教育ファームの取組の優良事例の発掘

相談窓口の設置

教育ファームって何? 教育ファームに参加したい! 教育ファームを始めたい! などのお問い合わせに対応

シンポジウムの開催

多くの方に教育ファームをPRし、 理解を深めてもらうために開催

(教育ファーム推進研究会最終報告書より)

市町村の協議会のイメージ

協議会事務局

協議会メンバー

それぞれの地域で教育 ファームに熱心な団体ま たは食育に関する既存 の組織を想定

取組主体

市区町村の農林水産関係部局、教育委員会、 農業委員会、福祉関係部局、生産者団体、 学校関係者、自治会代表者、NPOなど

取組主体

取組主体

地域の教育ファーム 推進計画の策定 取組主体間のネットワーク化

取組主体

取組主体

相談窓口の設置

シンポジウム・交流会の開催

取組主体

研修会の実施

取組主体

取組主体

取組主体

(教育ファーム推進研究会最終報告書より)